

令和5年度

【第2回：市政モニターアンケート】

調査結果報告書



船 橋 市

市長公室 市民の声を聞く課

1. 調査の目的

この調査は船橋市の「LGBT（性的少数者）」、「健康づくり」、「教育振興基本計画」について、広く市民の方々の意識や要望等をお伺いし、市民のニーズを把握、分析することにより、今後の施策に反映することを目的としています。

2. 調査方法

- 調査区域 船橋市全域
- モニター数 298人
- 調査期間 令和5年9月19日（火）～ 10月4日（水）
- 調査対象者 市政モニター
- 実施方法 郵送配付／郵送・インターネット回収

3. アンケートの回収結果

- モニター数 298人
- 有効回収数 270人（有効回答率 90.6%）

4. 集計にあたって

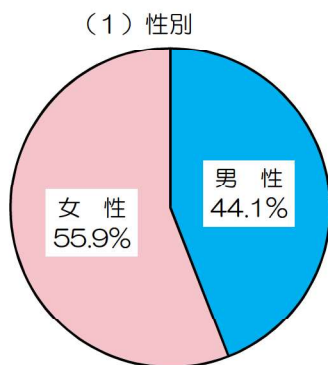
調査結果の数値は、原則として回答率（%）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%を上下する場合があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問（複数回答）では、回答率は100.0%を上回る場合があります。

- 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- 文中の〈n〉「有効回答者数」、〈SA〉「単数回答」、〈MA〉「複数回答」を表わしています。

5. 回答者のプロフィール

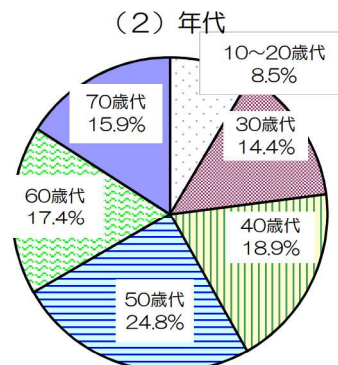
（1）性別 n=270人

性別	回答数	構成比（%）
男性	119人	44.1%
女性	151人	55.9%



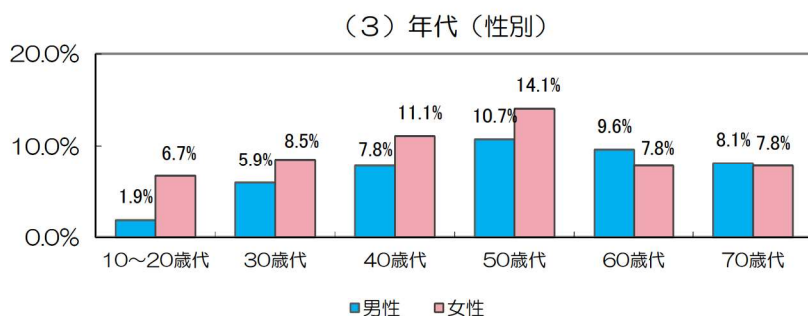
（2）年代 n=270人

年代	回答数	構成比（%）
10～20歳代	23人	8.5%
30歳代	39人	14.4%
40歳代	51人	18.9%
50歳代	67人	24.8%
60歳代	47人	17.4%
70歳代	43人	15.9%



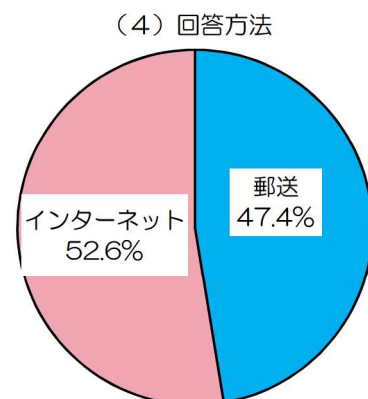
（3）年代（性別） n=270人

	回答数		構成比（%）	
	男性（人）	女性（人）	男性	女性
10～20歳代	5人	18人	1.9%	6.7%
30歳代	16人	23人	5.9%	8.5%
40歳代	21人	30人	7.8%	11.1%
50歳代	29人	38人	10.7%	14.1%
60歳代	26人	21人	9.6%	7.8%
70歳代	22人	21人	8.1%	7.8%



（4）回答方法 n=270人

回答方法	回答数	構成比（%）
郵送	128人	47.4%
インターネット	142人	52.6%

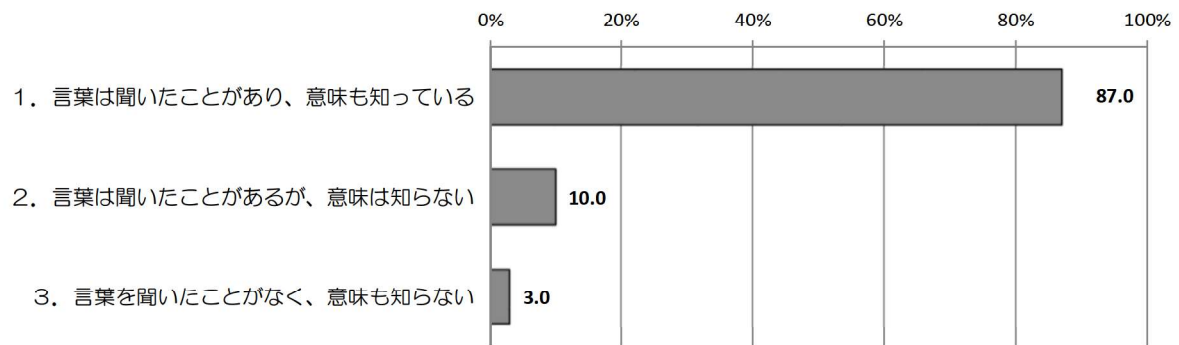


6. 調査結果

【LGBT（性的少数者）について】

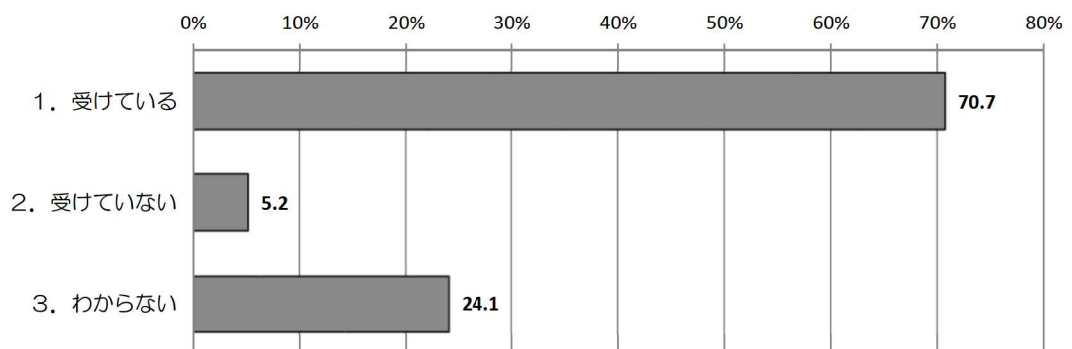
【問1】あなたは「性的少数者」または「LGBT」という言葉について聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。(1つ選択)

「性的少数者」または「LGBT」という言葉を聞いたことある、意味を知っているか<SA> (n=270)



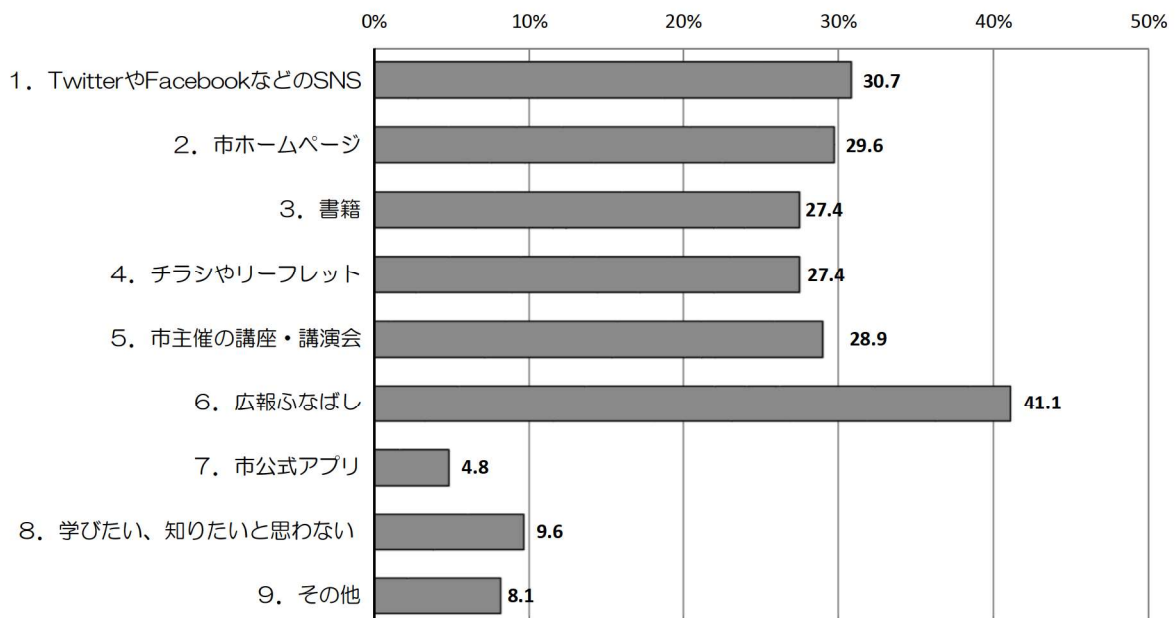
【問2】あなたは、LGBT（性的少数者）の方が、社会的な差別や偏見を受けていると思いますか。(1つ選択)

LGBT（性的少数者）の方が、社会的な差別や偏見を受けていると思うか<SA> (n=270)



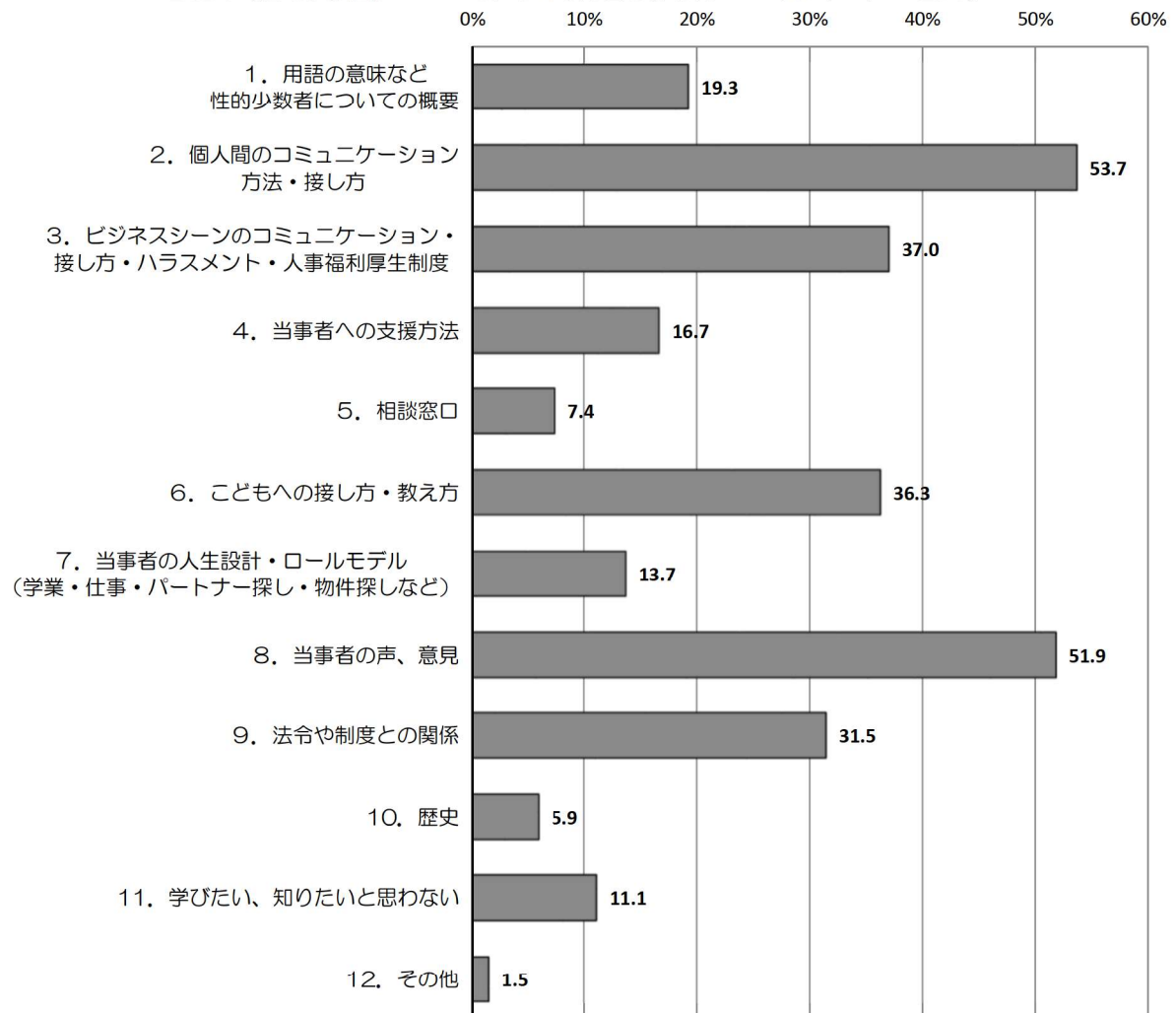
【問3】あなたがLGBT（性的少数者）について学ぶ、知る機会があれば、どんな方法で機会を得たいですか。(複数回答可)

LGBT（性的少数者）について学ぶ、知る機会は、どんな方法で機会を得たいか<MA> (n=270)



【問4】あなたがLGBT（性的少数者）について学ぶ、知る機会があれば、どんな内容を学びたいですか。
（複数回答可）

LGBT（性的少数者）について、どんな内容を学びたいか＜MA＞（n=270）



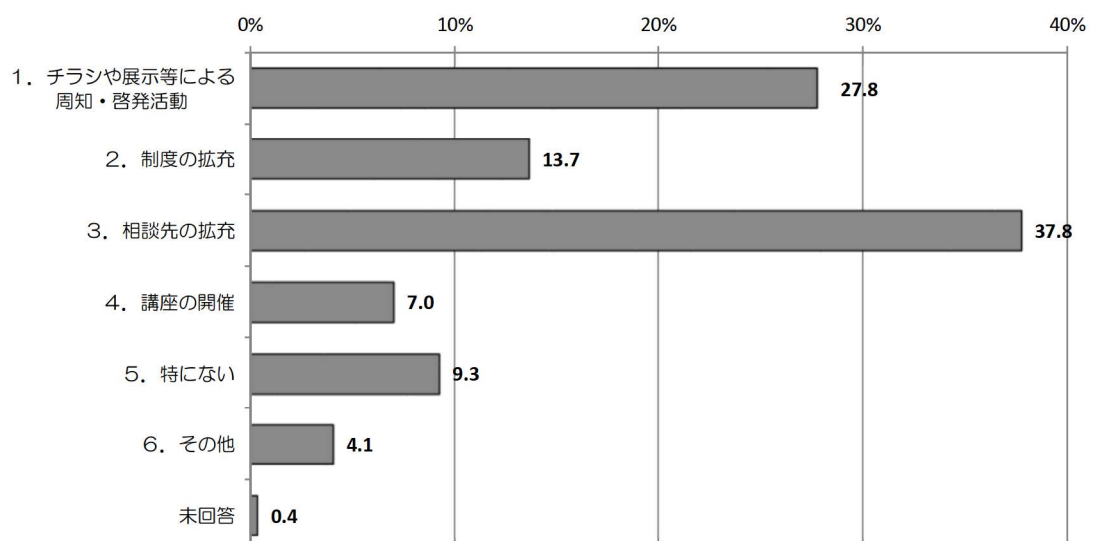
（問4で「1～10」のいずれかを回答した方）

【問5】今後の参考にするため、具体的な内容やテーマをご記入ください。

LGBT（性的少数者）について学ぶ、知る機会があれば、どんな内容を学びたいか、具体的な内容やテーマを聞いたところ、189件の意見が寄せられました。尚意見は別冊に記載しています。

【問6】LGBT（性的少数者）の方のために、市が最も力を入れて取り組むべきだと思うものを選んでください。（1つ選択）

LGBT（性的少数者）の方のために、市が最も力を入れて取り組むべきだと思うもの＜SA＞（n=270）



【1. 各設問の「その他」の意見等】

問3. 「9. その他」

(LGBT(性的少数者)について学ぶ、知る機会は、どんな方法で機会を得たいか)

22件

内 容	年代
TV	70歳代
テレビ(ニュース)	50歳代
テレビ番組	50歳代
TV番組	50歳代
TV、ラジオ	50歳代
テレビの番組を見て	60歳代
テレビ：ニュース、時事問題・解説番組etc	70歳代
テレビでLGBTを題材にした月9などのドラマをやってくれると興味をもって見たり、見ることで学べと思う。最近、不妊治療のドラマは多いです。そんな風に	50歳代
新聞	40歳代
新聞	50歳代
関連HPなど	30歳代
動画配信	40歳代
youtube等動画	50歳代
ネット上のニュース、YouTubeなどで情報は得られるが、課題として正しく認識するためには偏りの無い整理が必要	60歳代
school	40歳代
社内で行っている	50歳代
本人から話を聞く	40歳代
意見交換会など	40歳代
もう、周知されている。また、小さい子どもには不要	40歳代
自分自身で必要な知識は収集している。できると考えている	60歳代
市町村レベルで情報の共有はむずかしいのでTVを利用した国レベルでの取組みをすべきだと思います→将来を見すえ義務教育から対応するのもよい	60歳代
進んで学びたいと思わないが自然に耳に入ることによって良と思う	70歳代

問4. 「12. その他」(LGBT(性的少数者)について、どんな内容を学びたいか)

4件

内 容	年代
小中高生などを中心に周知や教育をすることが望ましい。しっかり理解をしないといじめの原因などになってしまいますことだと思う	40歳代
別に差別されていないと思う。もはや身体的に力の弱い女性たちが生きづらい。学ぶならそれも併せて学んだ方がいい	40歳代
当事者の実体験を公開し、HOWTOまで(人それぞれで受取からが異なりますが)を全国共通で情報提供できるようにする	60歳代
もう少しかんたんに出来る様な場所(?)みじかな所があると良い	70歳代

問5. (今後の参考にするため、具体的な内容やテーマ)

189件

内 容	年代
当事者の考え方や価値観接し方	10~20歳代
当事者が何を伝えたいか	30歳代
当事者が何を感しているか、何が不便なのか、周囲に何を求めているか	30歳代
実際に当事者が困っていることという解決方法を当事者が望んでいるのか	30歳代
当事者が抱えている問題を知ることによって、共有、理解をしたい	40歳代
当事者への配慮や円滑なつきあい方について知る機会が必要だと思う	40歳代
当事者が思う偏見のない社会とは	40歳代
当事者の声、意見について、概要の理解はあっても、当事者の気持ちやどのように考えているのかを他者が知らない限り真の理解とは言えないと思うので、本音の部分を知りたい。 法令や制度との関係については、少しずつ日本でも受け入れられてきているLGBTだが、実際具体的な法令や制度については全く知識がないので、わかりやすく理解できる機会がほしい	30歳代
当事者の悩みや困り事について	50歳代
当事者の受けた気持ち、感情を理解できる場もしくはHPへの公開	60歳代
当事者が感じる差別についてどのようなことが多いのか?等で差別を失くしていきたい	60歳代
当事者の話を聞く	70歳代
当事者の声、意見等を聞きたい	70歳代
当事者の方がどう思っているのか意見、声を聞く場をもうけては?	70歳代
当事者の方が何を望んでいるのかを知りたい	70歳代
当事者の意見ほど直接お聞きできるともっと理解が深まるとおもいます	70歳代
当事者の声を聞く機会を作ってほしいと思っています	60歳代
当事者が困っていることも知り、その解決に向けて個人行政の取組むべきこと	60歳代

人にされると辛いことなどを共有してほしい	10～20歳代
LGBTの方々がどのような生き方を望んでいるのか。また、LGBTの方々に対して、普段どのような配慮が足りていないと感じているのか	30歳代
話を聞いてみたいです。子どものころから、どういう違和感を感じてきたかとか	40歳代
性的マイノリティの方は過敏だという印象があります。当事者側に沿った意見は耳にするのですが、当事者に接する機会のある方の意見も聞きたいです	40歳代
仕事場や日常生活においての具体的な偏見どのような偏見があり、当事者が苦しんでいるのか。カップルとなり子どもがほしい時どうするのか	40歳代
LGBTQの方への対応については、当事者の方からの意見が重要で、LGBTQではない人が何か決めたりルール作りしたりするのはおかしいのではないかと感じる	40歳代
①どのような時（場面）差別を受けていると感じるか？ ②広く知ってもらいたいと思っているのか、そっとしておいてほしいと感じているのか？本音を知りたい（統計として）	50歳代
可能であれば、LGBTQ+の方から直接の話が見聞きできるとより深く理解することができるようになると思います。インタビュー形式、パネルディスカッションのようなもの…。オープンスペースで実施が難しい場合はSNSなどの活用が効果があると思います	50歳代
当事者に対するコミュニケーション上のマナーや気遣いについて。パートナーとの法令上の制約等	50歳代
LGBTの本音	50歳代
当事者の日常生活で感じている具体的なことがらについて	50歳代
LGBTであるがゆえに生きにくいと感じた実体験について	50歳代
どのような困る事、不自由なことがあるのか	50歳代
当事者が今まで直面したり感じたりしたことを（不便さや良かったことなど）実際に話してもらい共有させてほしい	50歳代
当事者の声や意見に関心がある。具体的な体験談やどういう風に生きづらいのかを知り、自ら何ができるのかを考えたい	50歳代
・生活においての実際の悩み ・言われて嫌だった言葉 ・公的設備の問題	50歳代
間接的には、知識としてなんとなく知ったつもりですが、当事者の生の声を聞いてみたい	60歳代
日常生活で困っていることをしりたい	60歳代
「私達の声聞いて下さい」	60歳代
生活をしていくなかでどんな悩みがあるか？	60歳代
当事者がどんなことで困っているか、どうすると生活しやすくなるのか等	60歳代
近くにそういう人がいないので制度的にもどう差別されているのか知りたい	70歳代
どのような差別を受けえていて社会にどうしてほしいのか？LGBTの生活スタイル	70歳代
私の周りにはいないので、当事者の声を聞きたいです	70歳代
当事者の考え、意見を聞いて、現状はどうなっているか？法令制度において不利益な扱いを受けているのか？もう少し知りたいです	70歳代
どのような場面で差別されているか	70歳代

LGBTQといっても、様々なケースがあると思料する（同じ人間がいないように、誰に対しても言えることだが）一括りにするのではなく、できれば複数の当事者の意見を知ることができるのが良いと思う。善意の押し付けとならないように、お互いに（当事者、それ以外）求めていることは何なのか、どこまで何ができるのか、考えていきたい。またサポートではなく、LGBTQという言葉が目立たなくなるような、自然に受け入れられる社会になるためには、どうしたらよいのか、考えていきたい	10～20歳代
市が主催する講演会で、当事者に講演をしていただきどんな差別があるのか、どのように接してほしいのかを話してもらう	10～20歳代
いろいろな考え方を持つ人がいると思うので当事者に接する人たちの考え方も知りたい	60歳代
私達にはわからない考え方などがあるので、そういう小さなことでも知ることができたら、理解が増えると思う	10～20歳代
●日常生活で困っていること、生きづらいつと感じる事はどんなことなのか ●どんな支援を求めているのか	40歳代
以前、当事者の方の生の声を聴く機会があり、自分自身の考え方が変わった様に思っています。それでも、理解しきれていないと感じる事もあり、また、自分が育ってきた中で擦り込まれてしまっている違和感が拭いきれていないと感じることもあります。などという点から、当事者の方のこういうことが嫌だとか、こんな風に接して貰えると有り難いなどを教えて頂けると有り難いと思います	60歳代
LGBT（性的少数者）の方たちのことを知識として知っていても、私達が無意識にしている何に対して不愉快な思いをするのか実際はよくわかりません。LGBT（性的少数者）と理解することがまた別の差別を生むことになってはいないのか気になっています。一人ひとりをただ人間と理解することが大切なのかなと思っているのですが、やはり子どもなどには難しい問題だとも思います	60歳代
何となく知っている人は多いと思いますが、周りに性的少数者がいないのでわからない人がほとんどだと思います。触れていいのか？と思っている人が多くまずは大人から子どもまで自然に知ってもらえる環境をつくっていくことが必要です	40歳代
まずは本人がどういう感覚なのか知ることからなのかなと思っています。それを知った上で相手とどのように接すれば良いのか、仕事上ではどのようにしたら良いのかを考えたい。また、どのような生活スタイルが多いのかを知り多様性に対する感覚を身につけたい	40歳代
当事者の方々がどの様な事で困る事が多いか？困っているのか？改善するにはどの様な取り組みが必要なのか。について具体的な例や話し。また、海外ではどの様に対応しているのか？	40歳代
・個人間のコミュニケーション方法・接し方 ・ビジネスシーンのコミュニケーション・接し方・ハラスメント・人事福利厚生制度 ・こどもへの接し方・教え方 ・当事者の声、意見	40歳代
生活をどのようにしていくか	50歳代
個性に対する理解と共存	50歳代
とにかくまず、内容の理解をしたい。良く、わかってないので	50歳代
LGBTという言葉と、意味は大まかには知っているつもりでいますが、実際に周りに（隠していてわからないだけでもありませんが）該当する方がいないので本当にわかっているのか？もわかりません。逆に子どもたちの方が理解してると思います。大人は認識を変える機会がないと昔のままの認識なので、発信していくことは大切なことだと思います	50歳代
自分の周りにはLGBTと思われる方がいないので、この先出会った際に正しく誠実に対応するための具体的なケースを教えてください	50歳代
まわりにも言わずに居る人も多数居るかもしれない。そういう方とのコミュニケーションやその方達の考え方を理解したい	60歳代
差別のない社会	70歳代
人権問題であり、正しく理解したい	70歳代
LGBTの差別を無くしたい	40歳代

差別を受けているとすれば具体的にどのような事があるのか	50歳代
どのようなことに傷ついてしまうか	50歳代
LGBTのおおもとになる人権についてきちんとした考えを持ちたい	70歳代
何が差別にあたるのか、どういう接し方が相手を傷つけることになるのか、具体的に知りたい。法や制度がどのような問題や対応があるのかも教えてほしい	50歳代
相手のことを慮る、相手の立場に立ってみる、差別や偏見をもっていないだろうか、など考えてみることは、LGBTの方々へのコミュニケーションに限らずどんな人とのコミュニケーションでも大切なことだと思います。LGBTを知り、差別や偏見、性の多様性を学ぶことで、人の多様性を認める、人の心や自分の気持ちの動きなど意識し考えて行動する人が増える、そんな講座など開いていただけたらいいと思います	50歳代
どのようなことが差別になるのか、知らぬ間に差別をしていないか、省みるような機会がほしい。事例集なのか、イベントなのか…とにかく差別を許さない街、多様なバックグラウンドを受け入れる豊かな街だと知れば、安心して暮らせる。相談窓口のようなものがあるのなら、周囲でハラスメントを受けている人がいた時に紹介したい	30歳代
著名人のLGBTの方々はしっかり意見を言ってすばらしい。子ども達にも「いろんな考え方」があることを気付いてもらい一緒に成長していけるような話をききたいと思う	70歳代
コミュニケーションの取り方。平等な接し方について	50歳代
コミュニケーションの取り方接する時の良い例と悪い例	50歳代
接し方について学べればよいと思う	10～20歳代
接する時、どのような対応が望ましいか。困っていること	30歳代
対個人との接し方	40歳代
個人を尊重した接し方	50歳代
自分とは違う考えを持つ人への接し方、説明の方法	30歳代
子どもの接し方一人一人違うと思うが、どのような接し方を求めているのか知りたい	10～20歳代
当事者の方たちにとってどんなふうに接仕方をされると嫌なのか等を知りたい	40歳代
未来の日本でのコミュニケーションの接し方	40歳代
多様な人々にどのようにコミュニケーションを取っていけばいいのか一度だけではなく数回にわたり学べるのが望ましいと思う	70歳代
これから知る人や既知の人によって知識の深さが違うと思うので、基本的な用語から日常生活における対応(アウティングにならないラインでのコミュニケーション?正解に近い具体例)を当事者にも伺うなど、実際に当事者と関わる機会がないと知りえない対応を学ぶ	10～20歳代
相手を傷つけないことが気になります。(接し方触れない方がよい。会話内容など)	30歳代
見た目では分からないことも多いので、関わり方や配慮点など知りたいです。性別で見る、考える思考が日本は強いので人として尊重する文化や制度、思考が学べてひろがると良いと思います	30歳代
テレビに出てる人は知ってるけど一般の人で会うことはほとんどない。つまり、公にしてないんだと思うけど、どんなことが苦痛なのか、接し方のok.NGが知りたい	30歳代
実際お話し相手が、LGBTかどうかわからない場面もあるので、どなたにも不快な思いをさせないような言葉のかけ方、接し方	40歳代

周りにいなく接したことがないので本当に基本的接し方など	60歳代
もしその方と出会った場合の接し方についての教育等を講演会等で知識を高めたい	70歳代
LGBTの人との関わり	40歳代
LGBTの方との接しかたや、どのような事が法に触れてしまうか知りたい	50歳代
LGBTとカミングアウトされた時の接し方や、公道などで見かけた際の自然なとらえ方	50歳代
LGBT理解増進など	50歳代
一人一人の個性	10～20歳代
男らしさや女らしさを美德とする考えを個性を生かす考えに変える。その人らしさを追求する	70歳代
「LGBTの現状」国内でどれ位の割合で存在しているのか	70歳代
船橋市内に存在するLGBTQの住民割合（自分の認識として知っている人が実数はどれぐらいか知りたいため）	30歳代
個性として判断されるような考え方が皆もてるように誘導をしてほしい	40歳代
・国／都道府県／市町村のそれぞれが、現時点で具体的にどのような支援策を取っているのか？今後取ろうとしているのか？ ・私たち一般市民が、LGBTの方々のためにできる何らかの支援策はあるのか？ ・当事者の意見や声が、自治体にどのように集められて、どのように市政の取り組みに反映されているのか？	40歳代
具体的に行政がどのように考えていきたいか聞きたい	40歳代
そのような方々に対し、社会での取り組みについて学んでみたい	40歳代
船橋市はLGBTに対してしている事	40歳代
専門家による講演会や説明会の定期的な開催実施	50歳代
講演会等を開いて直接話を聞く場を設ける	10～20歳代
市のHP、広報など引き続き広く知らしめる	60歳代
ホームページや広報ふなばし等で学ぶ機会を作ってほしい	50歳代
チラシや広報ふなばし等、こまかく載せていただきたい。まだ、全て周知できない	70歳代
市民レベルの浸透を図るため、小冊子の発行を期待したい	70歳代
LGBTだけでなく市民がおかれている差別の実態をあきらかにして市民が共有できるようにすることが土台だと思います。体制を思いきり充実させ専門家の参加も求め、市政の主な柱にしてLGBTが住みたいまちにするべきです	70歳代
お互いのプライバシーを保護しつつ打ち明けられるような場の作り方	10～20歳代
私の周りには何人かいらっしやいます。やはり相談窓口がないと言っていました。あったとしても相談員が理解出来ていないらしく結局ネットなど仲間同士で慰めあうくらいしかないとの事。やっと社会的にも令和になって動き出して会社、学校、色々な策を打ち出してはいるけれど、形ばかりはやってますよ状態で本人の心が置いていかれたままのような気がします。彼らがどのような心をもって生きずらく過ごしているのかももっと発信が必要だと思います。偏見の強い昭和世代の方にも広報など活用して絵を用いて少しでも理解出来るようなればいいなと思います	50歳代

今現在、近くに居たり聞いたりしたことはないのですが、困っていたりした時に相談できる公共機関などがあれば知りたいです。また、現実LGBTの方たちはどういった方法で情報交換をしているのか知りたいです	50歳代
今までLGBTの方と接したことがないので、何に困っているのか具体的には分かりません。今後その様な方の困りごとを聞く機会があれば、市の相談窓口を教えることができれば取り敢えずいいかなと思います	60歳代
具体的な内容ではありませんが、まずはお困りの当事者の方たちの支援の充実、相談しやすい環境作りが大切。その声、ご意見から周知啓発の方法を探っていくのはいかがでしょうか。当事者の方たちが嫌がる内容や方法は控える方が良いでしょう。もしチラシやリーフレットがOKなら、市のイベント(スポーツや音楽等)時にも、広く配布しやすいし、気軽に受け取ってもらいやすいと思います	60歳代
当事者以外(教師や事業者など)の相談にも対応。専門の相談員の配置	60歳代
性的指向などが理由での不当な差別がないように、相談窓口を気軽に相談できることが大事だと思います。船橋市が全国の見本となりマスコミ等と啓蒙活動に励む。取上げてもらう努力	70歳代
ビジネスシーンにおいて更衣室や化粧室の配慮等どの程度雇用主側が行うべきなのか労働者側は配慮をうけたいのならあらかじめ公表しなければならないのかこの辺りを明確化することによる差別化が出てきてしまうのではないかという懸念等	30歳代
現在、人材派遣会社におりスタッフでいた場合、派遣先での対応や担当する上で気をつけることや配慮など、また働く上でLGBTの方がどのように働いているのか(トイレ等)使用についても周りの理解が必要となることがあると思うので情報があったら良いかと思います	40歳代
LGBTの方達は、職場や学校等で周囲の人達にどの様に接してほしいと思っているか知りたい	40歳代
ハラスメントになる具体的な例と当事者のリアルな声	40歳代
ビジネスの現場では特に、セクシャルマイノリティの方々は、その表明をすることも難しいと思われます。実際にはどのような場面や事象で、仕事のやりづらさや困難を感じているか。どのような対応対策が有効と考えているか	50歳代
LGBT(性的少数者)はカミングアウトされなければ、わからない。伝わらない。職場では、どのように接すべきか?職場でのタブーは?問題があった時は、どこに相談すべきか?公的機関で。罰則、法整備は、どうなっているか?	50歳代
何がハラスメントになるのか知りたい	50歳代
コミュニケーション・ハラスメントなど具体例を示すような学びを得たい	50歳代
気がつかずにおこなっている差別的行為、NGワードは何か当事者は何を不快、差別と感じているか過度にセンシティブにならないでよいことは何か	50歳代
会社での接し方など	60歳代
LGBTを理解し、共に生きるためには。どんなことが必要か受け入れ体制	60歳代
トランスジェンダーの方もつらいと思うが、娘を持つ親として、公衆トイレや着替え等、どこまで異性でも心が女性の方と一緒に偏見をもたないようにと伝えれば良いか分からない。世間でも言われているが、悪意をもってトランスジェンダーを装う方もいる中で、非常に難しい	40歳代
トランスジェンダーの人は職場のトイレをどうするかでは、私と夫の意見が大きく分かれたので、当事者、老若男女、様々な人の意見を聞いてみたい	50歳代
ニュース等で時々扱われていますが、公共のトイレや入浴施設等の性別で分かれている空間の利用について、見た目は男性だけれど、内面は女性の方(またはその逆)の場合、本当にそうだと証明する方法が無いと不安です。本人、周囲の人、どちらにとってもストレス無く利用する為にはどうしたらよいのか	50歳代
差別の問題については、認識の問題であり、「問題が存在する」という意識が差別の根本であると考えます。意識にのぼらないのであれば、ハラスメントの問題と同様に整理可能ではないでしょうか。一方でトイレ、公衆浴場の利用など該当者と非該当者が共に利用する場所での利用ルール等は整理が必要かと思います	60歳代

時折、女装した男性を街で見かけたりすることがあります。それが好きなのだなと思い、ジロジロ見ないで、当たり前のように振る舞っていますが、違和感は感じます。女性の性認識を持っているので、女性トイレにというの、痴漢がそのふりをして入ってくる可能性もあり、すんなりは受け入れられません。当事者がどのように感じているのか、考えているのか知りたいです	60歳代
同性での結婚、またはそれと同等の制度があるのかどうか。もし自分の子どもがLGBTQと思われる場合どう接すればいいか、自分の親に接してほしかったか。男女別のトイレに加え、ジェンダーレストイレを作ることに対する当事者たちの意見	10～20歳代
法制度上における問題点について	10～20歳代
LGBTであるがゆえの当事者の悩みや、法制度について、共生していくために変化すべきところ	10～20歳代
LGBTの方々が現在施行されている法律や規則などについて実際にどう思っているのか、また全ての人が平等に自由な生活を送るためにはどこを見直すべきか知りたい	10～20歳代
そもそもどんな法令があるかわからない	30歳代
法的支援について	60歳代
法令制度について当事者が困っていること	30歳代
同性婚について	30歳代
LGBTを法令化したことによりどのくらい税負担が増え、国益を損ねたか	50歳代
・法的に罰せられる行為や事例 ・該当者に不愉快な思いをさせてしまう言葉	40歳代
LGBTを尊重しすぎて、女性は守られますか？政府がなぜLGBT法案を通したのか？それによって事件が起きないのか？総合的な観点から今一度考えていただきたい	40歳代
今、現在の日本におけるLGBTの立場（できることと、できないこと結婚等）	40歳代
当事者が普段の生活で特にどのようなことに困っているのか、また生きやすくするために法令・制度のどの部分をどう改正すればいいのか、話が聞ける機会があるといいと思います	50歳代
法令や行政の対応を市はどのように考え、整備してゆこうとしているのかについて	60歳代
当事者が法令等で困ってること、ハラスメントと感ずることなどのご意見を伺いたい。それを踏まえ、法令や制度などとのギャップ、当事者との関わり方を学びたい。船橋市の施策等を知りたい	60歳代
いつからLGBTという概念が生まれたのか。古代から性的少数者と言われる人はいたのか。当事者は今後結婚や仕事に関してどう感じているのか	10～20歳代
・いつ頃から「LGBT」という言葉が出来たのか？ ・「LGBT」だとどのような問題が生じるのか？	30歳代
歴史的背景からと世界との違いについて	30歳代
これまでの日本の歴史における同性愛について	40歳代
LGBTの方々が現実的に実社会でどう過ごしていくか？LGBT概要から生活面まで具体的に教えてほしい	50歳代
そもそも、性的少数者とはから、どのくらい的人数なのか。接し方など	50歳代
子どもがLGBTになるかもしれないし、LGBTから好かれるかもしれないため、どう対処するかはその時にわからないとわからないが、知識は得ていた方がいいと思うため	10～20歳代
子どもが当事者だったら場合のケアや関わり方 子どもに対してどのように知識として伝えていくか	30歳代

私は特に子どもたちにセクシャルマイノリティであることは決して恥ずかしいことや病気ではないことを周知していただきたいと思います。大人ももちろんですが、子どもでセクシャルマイノリティで悩んでいる方もいると思うので。具体的にはかなり、ハードルは高いかも知れませんが、セクシャルマイノリティの方だけが集まる会合の開催や同じ悩みを抱えている方を集めて、意見交換や悩みを共有する機会を設けてみる。ZOOMとかであれば顔を合わせることも無いので安心では…	40歳代
子どもの教え方	40歳代
小学生以下の子ども達への説明の仕方	50歳代
小さな子どもにわかりやすいLGBTの説明方法	10～20歳代
未成年のLGBTへの認識を正しく学校の中に浸透していくこと	50歳代
子どもが偏見を持たないように、どう話をしていったらいいのか知りたい	40歳代
子どもに教えていくにあたって、どのようなことを教えるのが適切か、よくわかっていません。また、子どもが義務教育中ですが、学校ではどのように教えているのか、保護者の側からはよくわかりません。ネットではよく目にするようになりましたが、その情報が正しいものなのか、当事者の方々に対して配慮されているのかも気になっています	50歳代
子どもにLGBTの方についての質問をされた時の対応の仕方。 パートナーはどのように探すのか？また、将来をどのように考えているか	30歳代
・子どもにどのように教えたら良いかななどの具体的な説明方法 ・当事者の方から、実際にどのようなことに困っているか、配慮してほしいかななどの声	30歳代
私の娘がテレビを見ていて、なんで男の人なのに女の人的人格好をしているの？など聞いてくることがあります。上手く答えることが出来ないので、小学校低学年でもわかるような説明の仕方やマンガのような絵で解説してくれたら、子どもでもわかると思います	30歳代
非常に説明が難しく、子どもにとっても間違った考えや偏見がないように誰でもわかるようなチラシなどによる広く広がるような方法で行ってほしい	40歳代
何気ない言葉で相手の方を傷つけないか不安に思うことがあります。子どもに質問されたらどう答えてほしいと考えておられるのか聞いてみたいです	30歳代
会社や学校などのコミュニティにLGBTの方がいた時、コミュニケーションとして最低限の対応方法を知っておきたい。子ども世代ではよりLGBTへの理解が求められると思われるためマナーとしても教えておきたい。水泳等の性で区別がされる際の、LGBT対処について会社での飲み会などの場でのLGBTへの対応について	30歳代
個人間のコミュニケーション方法・こどもへの接し方ですが、LGBTの方の見分け方がむずかしい	50歳代
特に、子どもに対するハラスメントの内容及び防止策	60歳代
学校教育でどう知られていくか	50歳代
学校など、子どもがかかわる施設でのいい取り組みかたについて	40歳代
小学校などでの性的多様性の認知や対応における指導や教育について	60歳代
LGBTについて、過度に反応するのは危険だと思う。人権は国民全般に平等であるべきであり現在の風潮はLGBTを優遇しすぎるように感じる自然に受け入れ周知する程度でよいと思う	50歳代
差別と区別の違い過剰な対応、やりすぎの対応の線引き	50歳代
LGBT各少数者によって理解できる面もあればできない面もあるすべての性的少数者を認知するには抵抗があります	70歳代
必要以上に啓蒙活動はする必要はない。市のホームページに支援団体のurlを紹介する程度で良いのでは無いかなと思う。タブーではなく個性と捉える程度の記載で良いと思う	40歳代
性別や誰を好きになるかということとは人それぞれだし、自由だと思うからこそそもそもLGBTといことを大々的に講習会等で場所をもうけるのは何だか少し違和感を感じました	30歳代

一方的にLGBTの方のことを聞くのではなく意見交換	40歳代
テレビ等で見聞きしますが、実際には内的で個人的な事柄で生きにくい世の中のような気がします。少数者とはいえ、ひとりの人間として道徳心、能力を持ち生活する人を認めること	60歳代
本人も自身のことがわかっていないことが多いと思います。いろいろな人がいると、居てもいいこと、まずはそこから教えていただきたい	50歳代
海外に比べて日本が遅れていること必要なこと	50歳代
トランスジェンダー	60歳代
最近になって身近にその様な人が出て今迄考えもしなかった状況になりこの調査を頂き全くのタイミングと感じた	70歳代
難しいテーマです	70歳代
もっともっと声を上げて知らせてほしい	70歳代
どのような問題があるか把握できていないので、具体的には分かりません	50歳代
わからない	70歳代
特にありません	60歳代

問6. 「2. 制度の拡充」(LGBT(性的少数者)の方のために、市が最も力を入れて取り組むべきだと思うもの)

30件

内 容	年代
同性婚	30歳代
同性婚、パートナー制度	10～20歳代
パートナー制度	30歳代
パートナーとしての権利	50歳代
パートナーシップなどの法として守ってあげられる制度	40歳代
パートナーシップの法的支援	60歳代
パートナーとしての権利など	50歳代
同性婚やパートナーとして施設無しでも法律的に認めていく働きかけ	50歳代
事実婚的な制度の充実	30歳代
結婚ができる制度、またはそれと同等の保証が受けられる制度の拡充	10～20歳代
婚姻など行政手続きの対応	60歳代
多目的トイレ増加	10～20歳代
学校に男女兼用トイレを作る	10～20歳代

トイレや入浴施設などの対応	50歳代
差別がなくなるように	10～20歳代
学校会社で差別	70歳代
税・契約でのLGBTQ外者との差をなくす制度	30歳代
性別の記載などの検討などか	30歳代
性別を特定する必要のないものはしなくていい、書かなくていいようにする	30歳代
何の制度が必要なのかもわかっていないが、制度のために制限されていたら一番問題だと感じるので	40歳代
隠さなくても働ける公的な場	40歳代
対策をした企業への支援、対策を取ろうとする企業への助成	50歳代
法的な不平等を改善	50歳代
現行制度の当事者視点での見直しから	50歳代
制度上、住み易い街づくり	60歳代
禁止行為を明確にすべき	60歳代
具体的なものが浮かびませんが、当事者の方々が困っている事をリサーチすると良いと思います。	60歳代
公立中学校の制服が女子でもスカートだけでなくスラックスが選べるようになっていないと聞いている。子ども達にとって選択肢が増えると思う	50歳代
渋谷区のように多様性を尊重する条例の制定	60歳代
当事者でないのわからないです	50歳代

問6. 「6. その他」（LGBT（性的少数者）の方のために、市が最も力を入れて取り組むべきだと思うもの）

11件

内 容	年代
講座の開催、（小学生、中学生向け）	40歳代
小学校時代からの教育	60歳代
個性の一つとして多様性を認める動き、個々の尊重	40歳代
当事者の悩みを聞き、市政として、その解決策を示すこと	40歳代
LGBTの方たちが1番取組んでほしいと	50歳代
国（TOP→DOWN）の対策は不十分とおもいますが、まずはTV-CMで全国レベルで問題点をHowToまでを公開すべき	60歳代

国が法律にLGBTQの制度設備ができるよう市として訴えていく	60歳代
どのような問題があるか把握できていないので、回答が難しい	50歳代
何に困っているかが分からないので具体的な案が出せません	40歳代
必要なし	50歳代
分からない	30歳代

【2. 自由意見】

LGBT（性的少数者）について

32件

内 容	年代
「LGBT」は理解できますが、国民性・感情面で抵抗感はある、国は真摯に向き合ってもらいたい。	70歳代
LGBTは積極的に取り組んでほしい。どのような人々もふつうに生活できるようにしていただきたい。	50歳代
LGBTにより、どのような場面で不利になるのか知りたい。	10～20歳代
最近、だいぶ認知されていると思います。ただ、当事者達の本音をもっと聞きたいと思います。	50歳代
LGBTについては、そのような方と接したことがまだないのでよくわかりませんが、本音として現在どのように感じているのか（社会に対して）によって対策は変わってくると思います。押しつけになるような対策となっては意味がないので、よくよく話を聞くことが大事だと思います。なかには声を上げることがためらう人もいるかも知れませんが・・・。	50歳代
生きている限り、そうとは気付かず差別をしていると思います。人の考えを強制的に変えることは出来ませんが気持ちよく過ごせるようになりたいです。	70歳代
企業でもカミングアウトの動画配信をする等でLGBTに対する偏見を失くすよう取組がある。10%の人々が該当するようであるが、身近にはいない。家族や大切な人がLGBTであるとカミングアウトされた場合、自分はどのように反応すべきか対処法は分からないし、どう接するべきかも不明瞭です。	40歳代
パートナーシップ制度はカップルでないと利用できないのでしょうか？恋愛関係だけが尊重されているように感じます。世の中には恋愛感情を持たないアロマンティックや性的欲求のないアセクシャルの人も存在しています。そうした人たちも信頼できる友人と生計を共にし暮らしたり、子どもを育ててゆけるはずで、多様な家族の在り方の一つとして想定してほしいです	30歳代
未来を生きる子ども達が多様性のある世の中と人たちと相互に輝きながら生きられるよう幼少期から世代間交流や地域活動や様々な学びが保証されることを願います。 仕事のこと、経済と生きるということ等、昔は必要性が低かったことも学べると良いなと思います。	30歳代
LGBTについては、子ども達（小学生や中学生）に積極的に理解してほしいと思う。今ある様々な課題を解決していくのは大人の役割かもしれないが子どもの時から社会課題に目を向けてもらい自分が大人になった時にどういう行動をしたらよいかと考えることこそが教育であり、それこそが社会課題解決への近道（は言いすぎか）であると思う。誰もが暮らしやすい社会を作っていくには子ども時代のやわらかな頭や感性がとても大切であると思います。	50歳代
公に一定の理解をしめす。万一の場合にパートナーとして認めるなど。公に認められることで社会に認知される。子ども達にとってもLGBTが個性だと自然に思える。共存。	50歳代
LGBTについて・理解しようと情報（海外との比較など）を入手し勉強中だが 昭和44年生まれでの当時の教育ではなされていなかった（触れてはいけない）ため差別意識の方が強いのが本音です。	50歳代
LGBTの方の見分けは60才になる当方でもいまひとつ自信がない。わからない場合は、普段どおりに接するしかないと思っているが見た目で判断する位しか今のところわかりません。	50歳代
LGBTに関しては深く学ぼうと思いません。	70歳代
LGBTは性犯罪にも利用されるので考えを改めた方がいい。	30歳代
LGBTの考えや個人の尊厳はわかっているつもりです。しかし、種の起源、現在の少子化等に対する対応が減速するようでは困ると思います。基本人は男と女で子が生まれることによって人類が繁栄するのではと思い、そこの所がだいじな事ではないでしょうか？	60歳代
LGBTの方達を気の毒に思います。結構な人数になるのだとおもいますが、各種制約があってありのままの自分でいられないのではないかと。幸福追求権は皆等しく平等であるべきだとおもうので少数の方々とは差別せず、希望にそうように国や地方自治体も制度を見直すべきだと考えます。ただ、やっかいなのは、お風呂やトイレの使用です。女性の立場としては身の安全を守る者にも女性用のトイレ、お風呂は見た目女性の方の利用に限らないとLGBTのふりをして悪い者が悪用しないとも限らないと思います。これについては今後の課題になると思います。	60歳代

内 容	年代
皆が等しく偏見なくプライバシーへの過度な踏み込みもない状態での適度なコミュニケーションのある状態が望ましい。なお米国のような過度なLGBT偏重は他山の石として戒める必要がある。 例) 米国ペンシルベニア大学でのトランスジェンダー競泳選手トーマスの例 1) 男子競泳選手が大学入学後トランスジェンダー女子を申告 非手術状態で女子大会に出場、次々と女子記録を塗り替え 2) 同大学的女子競泳選手が「身長193cmの生物学的男性と同じロッカールームでの着替えを強要された」と訴えも認められず	70歳代
性的少数者への差別については啓蒙が必要と思うが、テレビでマスコミが騒ぎすぎている。それを真に受けての対策に市税を投入(パンフレットや公演での費用)するよりは、ホームページで支援団体の紹介をするのが良いと思う。市が積極的に取り組みをすることに疑問もある。それは意識の誘導(洗脳)にならないか、何度も言われ続けることで人はそれが当たり前だと思いこむ。それを市が行うのではなく、自身の考えがおかしい(偏っている)と思った方がそれを自身で調べる手助けをしてほしい。世論(テレビやマスコミ)というのは簡単に人を誘導することができる。大東亜戦争の際の国民誘導と同じにならないように、あくまで中立として情報発信の立場にたち、虐待や差別がある事例には積極的に関わるスタンスを取ってほしい。	40歳代
LGBTについてになるが、今までも差別や迫害などあったのか疑問だ。みんな何かしら、みんなと違う部分があり、本当に何もいない人っているのかと感じる。オジサンやオタクだって何も悪く無いのに散々の時がある。家庭環境や経済的な事、色々ある。何だか肩身が狭い、みんなと違うと思う瞬間って誰でもあるのでは。LGBTだけどうしてと疑問。 しかも何故女性だけが我慢しなくてはいけないのか？嫌だと言ったら差別になるのか？世の中、痴漢や盗撮、セクハラや性的暴行まであって女性だけのスペースしか安心できない人は多いはず。その人達の気持ちちはどうなるのか、と思う。なのでトイレや更衣室は当然だが生物学的女性専用にするべき。またLGBTを悪用し海外でも様々な事件があり同じ事が日本でも起きる事は容易に想像できる。トイレなど女性専用が減ってきている様だが、もし女性専用を無くし事件が起きた場合は、それを推進した人が賠償をしてほしい。税金は使わないでほしい、だって分かっていたのだから。 女性が生きづらい世の中を推進したら子どもなど増える訳がない。	40歳代
LGBTの方を差別したことはないが、LGBT法案ができて遺憾しかない。男性、女性を守りつつ、LGBTの方を含む誰でも使用できるように施設を作るべき。渋谷みたいに、トイレを分けないのは女性がトイレに入るなど言われているみたい。女性が、男性がトイレにいますと訴えても、心は女性と言われたら、注意もできない現実。日本が住みにくい国にならないように切にお願いしたい。	40歳代
企業の経営においてはLGBTは重要な問題でありプロアクティブな対応も必要となるが自治体として何に困り何をしたいと考えているか？が判らない。	60歳代
LGBTの方が実際に相談にのってくれる他人事ではない場所があれば、もしもの時に相談に行きやすいと思いました。	50歳代
一部の社会人が取り組んでいる現状をもっと問題点を広く知ってもらい、社会作り(作り)が必要と思います。	70歳代
LGBTについて理解していないのは大人の方が多いと思います。ジェンダーレスを船橋市が促進していることをもっとアピールした方がいいと思います。また、百貨店やショッピングセンター、駅、企業など、ジェンダー問わず利用できる御手洗の設置を進めてください。	50歳代
LGBTは扱いが難しい課題だと思いますが、少しずつ啓発活動を続けて、誰もが住みやすい街になることを願っています。	60歳代
”LGBT”という言葉はあまり認識されていません。内容を広く知らせる必要があるとおもいます。人間の「権利と尊厳」の問題です。好奇的な眼を向けないために広く知らせていくことが大切です。	70歳代
LGBTの方が普通にくらせるようになってほしい。 広報などでも積極的に取り上げ、世間の人が理解できる環境づくりをもっとしてほしい。	70歳代
テレビ・報道・書籍ではわかっているつもりでも現実そういう方達と接する機会がないので今ひとつピンとこないのですが・・・色目がねで見たり差別をしないようにと心がけています。	70歳代
身近に存在してないと思っていたが、多分該当者は気づかないように努力していたのだと思う。 多数者(LGBTでない人)が配慮すべきだと思う。	70歳代
性的少数者のことは知らないことばかりでした。	70歳代
いずれも大変重要なことかと思っています。LGBTは、なかなか、、難しい問題かと思いますが、他の市区町村などと連携して、解消に向けて頑張ってください。	50歳代